

社会保険労務士からの三方一両得だより

平成28年4月20日 第79号

事務所を移転しました

この度4月1日をもって、事務所を宇都宮市下栗に移転いたしました。これも皆様のお引き立てのお蔭と、感謝しております。

開業以来、自宅の一室を仕事専用の部屋として使っていました。打ち合わせの際には労務関係の資料をいろいろと見せていただくことも多く、いつでもお客様の会社を訪問できるような業務スタイルを心がけていました。不便ではありませんでした、やはり事業としての信用力には欠けるところもあったかと思えます。

今回意を決して平成通り沿いの好立地に、一人事務所としては随分と大きな物件を借りました。早くスタッフの机で手狭になるように、より一層業務に励んでまいります。今後とも変わらぬお付き合いをどうぞよろしくお願いいたします。



事務所玄関

場所はミットヨさんのそば、平成通りと国道4号線の川田入口から東に向かう道路との、片側2車線道路同士の大きな交差点にあります。



今のところ広々としています。

ビルの壁面に白を基調とした大きめの看板を付けました。ミーティングスペースをご用意しましたので、いつでもお気軽にお立ちよりください。来客用駐車場はビルの西隣、砂利の駐車場でビル側の奥から3台目です。お待ちしております。



かれこれ5年ほどは経っています。

我が家の畑

桜の季節もあっという間に終わってしまい、種まきのシーズン到来です。

先週末にはジャガイモ（種ではありませんが）の植え付けを終えました。大根はもう少し前に種まきしました。

庭の花壇に植えてある葉ネギですが、収穫のタイミングが難しくなってきました。やっとなつたと思ったら、すでにネギ坊主が付いてしまいました。まあ、植えたままにしておくと、一度枯れてからまたグングンと成長します。

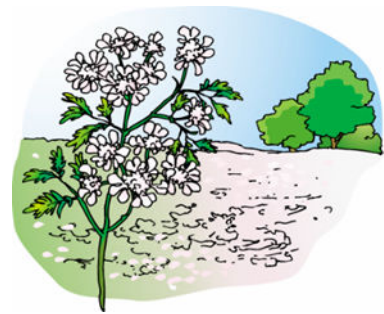
◆「中高年齢者の転職・再就職調査」に 見る転職者の意識

45～74 歳の中高年齢者を対象とした転職・再就職に関する実態、意識などについての調査(中高年齢者の転職・再就職調査)が行われ、その結果が独立行政法人労働政策研究・研修機構より公表されました。平成 25 年 4 月から 65 歳までの継続雇用が義務化されましたが、離・転職する中高年齢者の実態が垣間見える内容になっています。

調査対象は 6,000 人(45 歳～74 歳までを男女別、年齢 5 歳区切りに各 500 人)で、有効回収率は 89.3%(調査機関:株式会社インテージリサーチ)。男女とも、調査対象者の約 6 割が転職経験を持っており、転職経験者の平均転職回数は、男性が 2.4 回、女性が 2.7 回となっています。

転職に際して利用した機関・サービスについての回答(複数回答)では、「縁故」約 4 割、「求人情報誌等」3 割強、「ハローワーク」3 割弱などとなっています。転職先の選定理由については「仕事の内容に興味があった」や「能力・個性・資格を生かせる」等は男女でそれほど違いがありませんでしたが、男性に

少なく、女性で目立って多いのは「通勤が便利」「労働時間、休日等の労働条件が良い」の項目でした。転職を希望しながら実際には転職しなかった人が挙げた理由(複数回答)は、男女ともに最も多いのは「新しい環境に不安だったから」(約 4 割)となっています。



今後の転職で希望する雇用形態は 60 歳未満の男性は約 6 割が「正社員」を希望している一方、男性の 60 歳以降では 3～4 割程度、女性全体では 6 割程度が「パート・アルバイト」を希望しています。60 歳以上での転職では、自分の興味等に合った仕事を選ぶことが満足度を高めるようです。

60 歳未満では「賃金の低下」が転職を目指すきっかけとなっていますが、60 歳以上では賃金の低下による影響は見られず、「自分の興味、能力、個性、資格等に合った仕事を選ぶ」ことが満足度を高める要因となっています。